



(府政記者室、教育記者室、山城広域振興局記者室同時資料配付)

癒し^{いし}の^のこ^ころ^ろ
今こそ
文化の
底●力

平成23年9月26日

第26回国文化祭京都府実行委員会

(事務局：京都府国民文化祭推進局 075-414-4278)

第26回国文化祭・京都2011

シンポジウム「地球と人間」および「明日の暮らしの文化展」の開催について

第26回国文化祭・京都2011「シンポジウム『地球と人間』」および「明日の暮らしの文化展」を、下記のとおり開催し、「シンポジウム『地球と人間』」の参加者を募集しますので、合わせてお知らせします。

記

1 シンポジウム「地球と人間」～「千年」の歴史・文化～

地球（自然）と人とのつながりの歴史や文化を様々な観点から議論し、「これから先、未来の千年」を予測し、私たち人間がどうあるべきかを探ります。

(1) 日 時 平成23年11月3日（木・祝） 13：30～16：30

(2) 場 所 けいはんなプラザ大会議室「ナイル」（交流棟3階）

(3) 内 容

〔基調講演〕

演題「千年の大地に根付く生活文化」（仮題）

尾池 和夫^{おいけ かずお}氏（国際高等研究所所長）

〔パネルディスカッション〕

コーディネーター 浅岡 美恵^{あさおか みえ}氏（弁護士、NPO 法人気候ネットワーク代表）

パネリスト 喜多郎^{きたろう}氏[京都国文祭特命大使]（ミュージシャン）

後藤 典生^{ごとう てんしょう}氏（圓徳院閑栖住職）

松本 零士^{まつもと れいじ}氏（漫画家）

吉岡 幸雄^{よしおか さちお}氏（染織史家）

(4) 定 員 300名（事前申込・先着順）、入場無料

(5) 申込み ・「京都府総合窓口」 電 話（075-411-5000）

FAX（075-411-5001）

・京都国文祭のホームページ(<http://kokubunsai-kyoto2011.jp/>)

※申込みは、住所、氏名、電話番号（FAX番号）、人数を明記

(6) 問合せ 「京都府総合窓口」 電 話 (075-411-5000)

(7) 主 催 文化庁、京都府、京都府教育委員会、第26回国民文化祭京都府実行委員会



2 明日の暮らしの文化展

(1) 未来の暮らし展

日 時：平成23年10月29日（土）～11月3日（木・祝）10：00～17：00

場 所：けいはんなプラザ イベントホール

内 容：東日本大震災を踏まえ、「エネルギーと暮らし」「環境と暮らし」「防災と暮らし」をテーマとして、関西文化学術研究都市の研究機関等によるスマートグリッドに関する展示、電子図書館体験、四次元デジタル宇宙シアター、科学実験ショー、ワークショップ、ロボットの展示など、未来の暮らしが実感できる先端技術の展示などを行います。

(2) 「科学のまちの子どもたち」プロジェクト5周年記念イベント【H23. 8. 26 発表済】

○『まほろば・けいはんなサイエンス交流フォーラム』

○『けいはんな子ども科学工作・実験教室』

(3) 明日の暮らしの文化展 in 同志社大学京田辺キャンパス

日 時：11月5日（土）13時00分～17時

11月6日（日）10時～17時

場 所：同志社大学京田辺キャンパス

内 容：『人の健康と活力を引き出す未来技術』をコンセプトとして、エネルギー、知的照明、先端医療（脳科学）などの展示。

○『シンポジウム「人の健康と活力を引き出す未来技術」』

～こどもたち次世代へつなぐ環境にやさしい暮らしとは～

日 時：11月6日（日）13時30分～16時30分

場 所：同志社大学京田辺キャンパス

内 容：南川秀樹氏（環境省事務次官）による基調講演やパネルディスカッションなど。

◆お得な「ほんまもん体験ツアー」バスもご利用いただけます！

11月3日（木・祝）出発「千年の歴史と文化を精華町で」

参加費 1,000円（昼食なし）

京都駅 = 武内神社 = 来迎寺（お千代・半兵衛の墓） = けいはんな記念公園・けいはんなプラザ

9:00 10:00 10:30 10:40 11:10

（自由散策・自由食・「明日の暮らしの文化展」自由鑑賞） = シンポジウム「地球と人間」 = 京都駅

13:30 16:30 17:30ごろ

申込み・問合せ：近畿日本ツーリスト・京都支店

TEL：075-221-7408

FAX：075-223-5192